

QBIC第2期活動

2022年度QBIC活動方針

2022年6月16日

QBIC企画運営委員長 三神 泉

収集意見の主な内容

アンケート # 4から得られた活動へのインプット

- ① **みちびきサービス利用のための情報が不足していると思われる地域や方々へ、不足情報を調査の上で、十分な情報提供を行う更なる活動が求められている。**
- ② **みちびき社会実装加速とビジネスメニュー拡大に向け、以下が求められている。**
 - ・**屋内測位や衛星画像との融合ソリューション創出に資する、実証例や社会実装例の発信と情報共有**
 - ・**最新事例に基づくみちびき社会実装成功例と使用される受信機事例の発信**
 - ・**海外を含め、みちびきサービスの特長を活かすビジネス創出の支援**
 - ・**「みちびきからのサービス」の更なる改善をインフラ側に訴求**
 - ・**事務局・会員間のコミュニケーションの更なる強化**

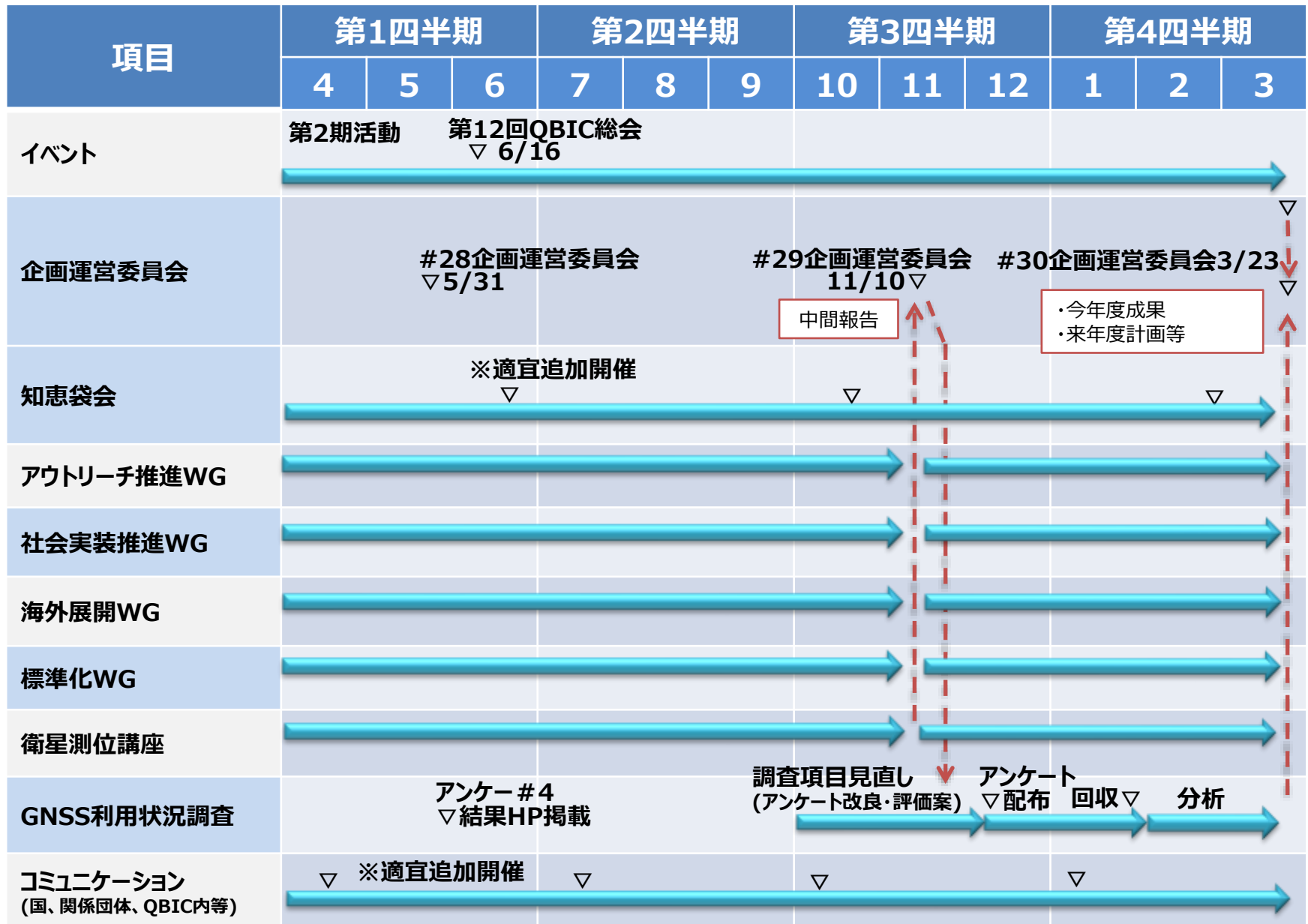
2022年度QBIC活動の方針

【活動方針】

ウィズコロナや2024年から始まる7機体制におけるG空間社会の変化を見極めつつ、衛星画像等の他情報とのfusionによる新ビジネスの創出と、海外事業や異分野事業とのビジネスマッチングの機会提供に軸足を置き、みちびき/GNSSの社会実装の更なる加速と裾野の拡大を目指す。なお、2023がQBIC2.0の最終年度となることを踏まえ、活動の総括と継続可否判断のための尺度の明確化のため、タスクフォース的な活動を立上げて準備を行う。

1. 第4期地理空間情報推進基本計画の統合型防災・減災システム、海外展開・国際貢献にも関連する、「みちびき」サービスの長を生かした社会実装事例の発信と会員間での学習による社会実装の普及を進めるとともに、7機体制の持続測位における利活用変化に関する検討を行う。
2. 測位ビジネス拡大のため、屋内測位技術や衛星画像との融合に資する情報発信と共有を強化し、会員の「みちびき」利活用に関する社会実装の加速を支援する。
3. みちびきの各種サービスの海外利活用ビジネスを企画するユーザに対し、QBIC会員のみならず海外企業を含めたビジネスマッチング等に関する相談窓口をさらに強化する。
4. 「みちびき」サービスの社会実装普及度を測る尺度を明確化する検討会を企画運営委員会を軸に立ち上げ、その尺度を用いた第三者評価、各WGにおける自己評価を行い、次年度の活動継続可否判断に向けた準備を徹底する。
5. アンケート#5の継続実施により、定点観測的なみちびき/GNSS利用状況調査と、みちびきサービスやQBIC推進方法への改善情報を取得するとともに、電子会議、SNS等を駆使し、内閣府・QSSを含む、会員・非会員間のコミュニケーションの活性化と積極的な情報発信を行う。

2022年度活動スケジュール



委員等

委員等(1/4)

1. 会長

- 篠原 弘道 日本電信電話（株） 取締役会長

2. 諮問委員

- 梶田 直揮 (株)大林組 専務執行役員 技術本部長
- 進藤 健輔 セコム(株) 執行役員
- 小林 丈記 ソフトバンク (株) テクノロジーユニット統括 サービス企画技術本部長

3. アドバイザー

- 柴崎 亮介 東京大学空間情報科学研究センター 教授
- 神武 直彦 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授
- 浪江 宏宗 防衛大学校電気電子工学科 防衛教官
- 野口 伸 北海道大学大学院農学研究院 教授
- 佐田 達典 日本大学理工学部交通システム工学科 教授
- 原田 豊 立正大学法学部 教授
- 小塚 荘一郎 学習院大学法学部 教授

4. 企画運営委員

- 三神 泉 委員長：(一財)宇宙システム開発利用推進機構 常務理事
- 曾根 久雄 副委員長：(一財)宇宙システム開発利用推進機構 衛星測位事業本部 QBIC推進チーム長
- 山本 貴弘 (株)大林組 技術本部 副本部長
- 近藤俊一郎 (株)コマツ 開発本部ICTシステム開発センタ 情報化建機システム開発グループ
エキスパートエンジニア
- 木村 恒一 準天頂衛星システムサービス(株) 取締役
- 田内 滋 (株)ゼンリン 事業統括本部 IoT事業本部 IoT事業推進部 部長
- 田口 信幸 (株)デンソー 先進モビリティシステム事業開発部 開発総括課 担当次長
- 秋本 則政 (一財)日本情報経済社会推進協会 電子情報利活用研究部 主席研究員
- 細井 俊克 日本電気(株) 宇宙システム事業部・部長
- 河田 博昭 日本電信電話(株) 秘書室 担当部長
- 粟本 繁 日本郵船グループ(株) MTI 物流技術グループ 調査役
- 橘 菊生 (株)パスコ 事業統括本部 副本部長
- 荒牧 照貴 三菱電機(株) 電子システム事業本部 準天頂衛星推進部 部長
- 細井 幹広 アイサンテクノロジー(株) 取締役 SIQ事業部 本部長
- 津野 浩一 国際航業(株) 先端技術・事業開発部 調査企画グループ 技術担当部長
- 五百竹 義勝 日立造船(株) 電子制御ビジネスユニット 担当部長
- 南 貴博 富士通(株) 官公庁事業本部 官庁第6事業部 マネージャー
- 磯 尚樹 ※ (株)NTTデータ 社会基盤ソリューション事業本部 スマートビジネス統括部長
- 林 正明 ※ セイコーエプソン(株) NM事業推進プロジェクト 主事
- 坂下 哲也 ※ (一財)日本情報経済社会推進協会 常務理事
- 松岡 繁 ※ (一財)宇宙システム開発利用推進機構

※ WGリーダーは規約によって自動的に企画運営委員となる。

なお、本田技研工業(株)は担当者退職により、メンバーを1名削減。

5. オブザーバー

- 内閣府 宇宙開発戦略推進事務局
- 総務省 宇宙通信政策課
- 法務省 民事第二課
- 文部科学省 宇宙開発利用課
- 農林水産省 農林水産省大臣官房政策課技術政策室
- 経済産業省 宇宙産業室
- 国土交通省 技術政策課
- 国土交通省 国土地理院 企画部企画調整課
- 情報通信研究機構 電磁波計測研究所時空標準研究室
- 情報通信研究機構 先進的音声翻訳研究開発推進センター企画室
- 宇宙航空研究開発機構
- 農業・食品産業技術総合研究機構
- 産業技術総合研究所 情報技術研究部門
- 電子航法研究所 通信・航法・監視領域
- 新エネルギー・産業技術総合開発機構

委員等 (4/4)

6. WG

区分	アウトリーチ推進WG	社会実装推進WG	海外展開WG	標準化WG
リーダー	坂下 (JIPDEC)	松岡	磯 (NTTデータ)	林 (セコーエフロン)
サブリーダー	南 (富士通) 曾根	齋藤	桜井	浅里
WG事務局	上村	栗栖	サム クレイドン	栗栖

※ () 内は所属企業・団体であり、() 無しはJSS所属を示す。

7. QBIC事務局 (全体)

事務局長	三神	全活動の総括的マネジメント
事務局	曾根、濱田、栗栖	企画運営委員会等横通し会議の開催
講座担当	浅里、齋藤	QZSS利用ABC講座準備、開催